

〔感染症発生動向調査企画委員会情報〕

6月報

インフルエンザ/COVID-19定点(小児科定点を含む)

※令和5年5月8日から、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染症法上の位置付けが5類感染症になり、定点医療機関による定点把握となっています。

インフルエンザ： 報告数は1,049件で、熊本市、菊池から多く報告されています。本年1～3月に報告数が増加し、4月になり一旦減少したものの先月、今月と再度増加しており例年にならぬ流行が見られます。今後も報告数の推移に注意が必要です。

新型コロナウイルス感染症： 報告数は2,685件(前月比5.0)で先月より増加しています。成人を中心に全年齢、県内全域より報告されています。新型コロナの定点は80施設です。

小児科定点

(全体傾向)

報告総数7,820件(前月比2.24、前年同月比3.48)でした。インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、RSウイルス感染症、A群溶連菌咽頭炎、感染性胃腸炎、ヘルパンギーナなど多くの疾患で例年にならぬ流行が見られ、報告総数が増加しています。

(疾患別傾向)

1. RSウイルス感染症： 438件(前月比3.7、前年同月比109.5)の報告です。年齢は1歳中心で、菊池(定点あたり27.2)、八代(同10.5)、熊本市(同10.38)より多く報告されています。年齢は乳児～3歳までが多く、1歳児が最多です。
2. 咽頭結膜熱： 報告数107件(前月比1.4、前年同月比1.6)と先月より増加しています。
3. A群溶連菌咽頭炎： 報告数300件(前月比2.4、前年同月比7.7)と先月より増加しています。宇城(定点あたり28.75)で多いようです。3～8歳が流行の中心ですがほぼすべての年齢から報告があります。
4. 感染性胃腸炎： 報告数2,223件(前月比1.9、前年同月比1.4)と先月より増加し、昨年より高い水準で推移しています。1歳をピークに全年齢層から報告があります。全県より報告がありますが、特に菊池(定点あたり142.2)、御船(同54.0)、有明(同53.8)、で報告が多いようです。
5. 水痘： 報告数14件(前月比0.7、前年同月比0.6)と低い水準を推移しています。
6. 手足口病： 報告数114件(前月比2.5、前年同月比1.1)と先月より増加しています。御船(定点当たり20.67)からの報告が多いようです。
7. 伝染性紅斑： 報告数4件(前月比2.0、前年同月比1.0)と低い水準を推移しています。
8. 突発性発疹： 報告数137件(前月比1.2、前年同月比0.8)と例年同様の推移と思われます。
9. ヘルパンギーナ： 報告数549件(前月比1.8、前年同月比25.0)と先月より増加しています。1～2歳を中心に未就学児から多く報告されています。菊池(定点あたり31.8)、宇城(同14.75)、熊本(同11.69)を中心に阿蘇を除く全県より報告されています。
10. 流行性耳下腺炎： 報告数17件(前月比0.9、前年同月比2.8)と昨年、一昨年と比べ高い水準で推移しています。

眼科定点

1. 急性出血性結膜炎： 報告はありません。
2. 流行性角結膜炎： 報告数 18 件(前月比 2.0、前年同月比 1.5)と増加傾向です。熊本 15 件、天草 2 件、有明 1 件の報告です。年齢別では 20～39 歳にピークがあり、14 歳以下に報告はありません。

STD定点

※平成 25 年 1 月から、定点医療機関数の見直しに伴い、定点医療機関が 13 医療機関から 16 医療機関に増えました。

1. 性器クラミジア感染症：
報告数76件(前月比1.0、前年同月比0.8)で、前月比で変化無く前年同月比で微減しています。男女別では男性が50件で、女性は26件で、罹患年齢層は男性が10歳代～64歳、女性は15歳～44歳でした。保健所別発生状況は熊本が64件、御船が9件、有明が2件、八代が1件でした。
2. 性器ヘルペスウイルス感染症：
報告数25件(前月比1.7、前年同月比1.3)で、前月比・前年同月比共に増加しています。男女別では男性が11件、女性が14件で、罹患年齢層は男性が15歳～69歳、女性は25歳～70歳以上でした。保健所別発生状況は八代が8件、熊本が7件、菊池が6件、宇城が4件でした。
3. 尖圭コンジローマ：
報告数は9件(前月比1.3、前年同月比0.6)で、前月比で増加、前年同月比で減少していました。男女別では男性が4件で女性が5件で、罹患年齢層は男性は25歳～44歳、女性は20歳～39歳でした。保健所別発生状況は熊本が8件、八代が1件でした。
4. 淋菌感染症：
報告数は23件(前月比1.2、前年同月比1.1)で、前月比/前年前月比共に微増していました。男女別では男性が19件で、女性は4件で、罹患年齢層は男性が15歳～69歳、女性は15歳～34歳でした。保健所別発生状況は熊本が18件、有明が5件でした。

基幹定点

(月報分)

1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：
報告数は29件(前月比：1.1、前年同月比：2.6男女比：19/10)と増加傾向でした。熊本(11)、有明(6)、人吉(4)、山鹿・阿蘇(各3)、菊池・水俣(各1)でした。年齢分布としては70歳以上(19)、0歳と55-59歳(各2)、1-4歳・5-9歳・45-49歳・50-54歳・60-64歳・65-69歳(各1)と前回同様に高齢者に多く認められました。
▼例年より多く増加傾向の報告数で経過していますので注意が必要です。
2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：
報告数は2件(前月比：0.7、前年同月比：2.0、男女比：1/1)と減少傾向でした。熊本・有明(各1)でした。年齢分布としては1-4歳・65-69歳(各1)でした。
▼例年より少なめの報告数でした。
3. 薬剤耐性緑膿菌感染症：
報告数は0件(前月比：-、前年同月比：-)で報告はありませんでした。
▼例年より少ない報告数で推移しています。

(週報分)

1. 細菌性髄膜炎： 報告数は0件(前月比：-、前年同月比：-)で報告はありませんでした。
▼例年並みに散発的な報告数です。
2. 無菌性髄膜炎： 報告数は1件(前月比：1.0、前年同月比：1.0)で同様の傾向でした。熊本(1)で、
年齢分布としては50-54歳(1)でした。
▼例年並みの報告数でした。
3. マイコプラズマ肺炎： 報告数は0件(前月比：-、前年同月比：-)で報告はありませんでした。
▼今年4月以降、引き続き報告はありません。
4. クラミジア肺炎： 報告数は0件(前月比：-、前年同月比：-)で報告はありませんでした。
▼引き続き報告はありません。
5. 感染性胃腸炎(ロタウイルスによる)：
報告数は0件(前月比：-、前年同月比：-)で報告はありませんでした。
▼昨年11月以降、引き続き報告はありません。

届け出対象感染症

1類感染症	： 報告はありませんでした。	
2類感染症	： 結核	17件
3類感染症	： 腸管出血性大腸菌感染症	11件
4類感染症	： レジオネラ症	10件
	重症熱性血小板減少症候群(SFTS)	1件
	日本紅斑熱	2件
5類感染症	： カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1件
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1件
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1件
	侵襲性肺炎球菌感染症	3件
	梅毒	30件
	百日咳	1件